NO 2048　レジメン名　**D-Ld療法【1,2コース用】**

病棟　患者番号　氏名	癌種	ステージ	PS	クール数	指示医師名
				～	

年齢	身長	体重	体表面積	GFR（血清ｸﾚｱﾁﾆﾝ値）
歳	cm	kg	㎡	ml/min (mg/dl)

【適応がん種】多発性骨髄腫　ダラツムマブ　レナリドミド　デキサメタゾン

1・ダラキューロ　1800 mg/body　DAY1．8．15．22
2・レブラミド　25 mg/body　DAY1～21

28日（4週）1クール

CCr補正	GOT補正	T-Bil補正
－	－	－

WBC基準	HGB基準	PLT基準
－	－	－

【病状】
1　全て説明している
2　病名は説明しているが、詳しい病状については説明していない
3　未告知である

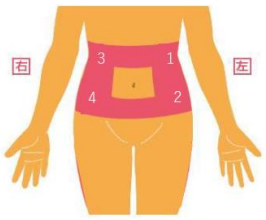
【治療】
1　抗癌剤による治療・予防と説明
2　抗癌剤とは言わず治療薬と説明
3　抗癌剤とは言わず予防薬と説明
4　薬に関しては説明していない

平成20年7月1日 改訂

NO	薬品1	規格	本数	薬品2（規格本数）	時間・投与法
①	モンテルカスト（10）1錠　内服　（前投与　オーダー不要）				
②	カロナール（200）4錠,レナデックス（4）5錠、レスタミン（10）5錠　内服　（前投与　オーダー不要）				
③	ダラキューロ　（ 1800 ）mg	1800mg	1本	15mLを3～5分かけて皮下注	
④	レナデックス（4）5錠　内服　（翌日内服分　オーダー不要）				朝食後内服

【ダラキューロ投与時の注意】

●臍から左右7.5cmの腹部皮下に投与（右図参照）
●バイアルは投与30分以上前に冷蔵庫から取り出す
●調整後、室温および室内光下で保存する場合は4時間を上限とする
●注射針は23～25G又は翼状針で投与する



□ダラキューロ投与中は**間接クームス試験が偽陽性になる可能性**がある
　（ダラキューロが赤血球上のCD38と結合するため）
□ダラキューロ投与前に不規則抗体のスクリーニングを含めた一般的な輸血前検査が望ましい
□ダラキューロによる間接クームス試験の干渉を回避するためには、**ジチオスレイトール(DTT)処理を考慮**すること

202108作成

月日			指示		指示医	受け	監査	払い	払監	調製	調監	前確	実施
			①②③	DAY1									
			④	DAY2									
			②③	DAY8									
			④	DAY9									
			②③	DAY15									
			④	DAY16									
			②③	DAY22									
			④	DAY23									